

ダムだより

No.57



2017.7.12

国土交通省
四国地方整備局
山鳥坂ダム工事事務所
TEL 0893-34-3000
FAX 0893-34-3358



桜吹雪、水しぶき鹿野川ダム

「ダムだより57号」目次

- 平成 29 年度の主な事業実施予定 / P 2
鹿野川ダム&トンネル洪水吐現場見学を随時開催
- 山鳥坂ダム建設事業の進捗状況 P 3
- 鹿野川ダム改造事業の進捗状況 P 4
- 出水期に向けて鹿野川ダムからのお知らせ / P 5
鹿野川湖湖面利用ルールについて
- 山鳥坂ダム工事事務所のフェイスブックとブログについて / P 6
生活再建相談所からのお知らせ
- 「山鳥坂ダム・鹿野川ダム環境検討委員会」を開催しました / P 7
「ダムアワード 2016」 イベント賞受賞について
- 元気人紹介 P 8

山鳥坂ダム職員によるブログをホームページで公開しています。
地域の情報などを発信していますのでぜひ一度ご覧ください。

[山鳥坂ブログ](#)

[検索](#)



平成 29 年度の主な事業実施予定

山鳥坂ダム建設事業関連

引き続き、水没予定地等関係者の皆様の生活再建、地域振興を最優先に、用地補償、付替道路工事等を進めていきます。また、ダム本体、付替道路関連の測量設計、地質調査等も行います。

項目	主な実施予定内容
用地	湛水地、付替道路にかかる用地取得 等
工事	付替道路工事及び工事用道路・現道拡幅工事 等
業務	水理水文観測、地下水調査、環境調査（動物、植物等）、地質調査、道路設計、用地調査 等

鹿野川ダム改造事業関連

引き続き、トンネル洪水吐工事及び関連工事、機械設備工事を行います。また、貯水池の水質改善を図るために設置した曝気循環装置、深層曝気装置、高濃度酸素水供給装置の運用効果を把握し、より良い運用に向けた検討も行います。

項目	主な実施予定内容
工事	トンネル洪水吐本体工事、機械設備工事、流木処理 等
業務	水理水文観測、水質調査、地下水調査 等

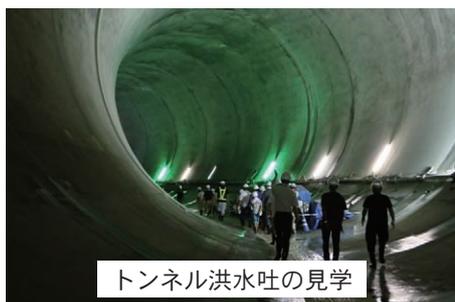
鹿野川ダム&トンネル洪水吐現場見学を随時開催



ダムの仕組みや役割の説明



鹿野川ダム内部の見学



トンネル洪水吐の見学

鹿野川ダムの見学及びトンネル洪水吐の現場見学を行っています。見学会では、鹿野川ダム管理庁舎でダムの仕組みや役割などを学んで頂いた後、普段は一般の人が入ることのできないダム内部や工事を実施している今しか見ることのできない日本最大級のトンネル洪水吐の工事現場を間近で見ることができます。

ダム見学に参加された方は、改造事業中にしか手に入らないダムカードを手に入られます。

以下にQ&Aを紹介しますので、申し込みの際の参考にしてください。

Q1:見学できる時間帯はいつごろですか？

A1:平日の8:30～17:00です(土日・祝日は要相談)。ただし、天候や工事の状況などにより対応できない日時もあります。

Q2:見学人数の規定はありますか？

A2:10人以上での申し込みをお願いします。少人数でも対応できる場合がございますので、あらかじめご相談ください(他の参加者の方と一緒に見学していただきます)。



見学受付中

改造事業見学者のみ手に入られるダムカード

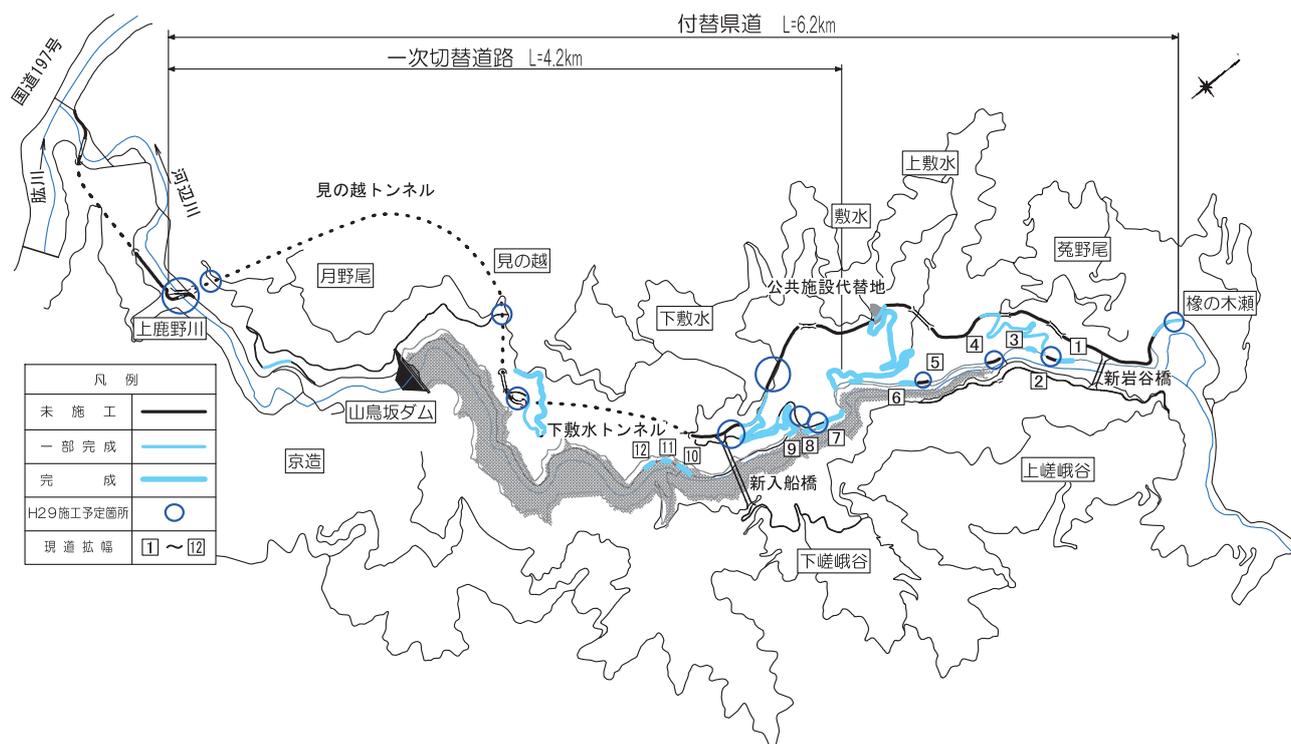


問合せ先 山鳥坂ダム工事事務所 事業計画課 TEL 0893-34-2350

山鳥坂ダム建設事業の進捗状況及び工事の予定

現在、上鹿野川地区、見の越地区、下敷水地区、菟野尾地区、椽の木瀬地区において、県道（主要地方道小田河辺大洲線）の付替工事や工用道路工事、現県道の拡幅工事を進めています。今年度は下記平面図の○印の箇所において工事を行う予定です。

工事の進捗に伴い、土砂を運搬するダンプトラック等の通行が多くなっており、近隣にお住まいの皆様、道路を通行される皆様にはご迷惑をお掛けして申し訳ありません。地元車両の通行の優先や昼間のライト点灯を徹底するなど、地域の皆様の生活への支障が生じないよう努めてまいりますので、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



工事実施状況

付替県道の
新設工事
(下敷水地区)



平成 27 年 4 月時点



平成 29 年 4 月時点

付替県道の
新設工事
(椽の木瀬地区)



平成 26 年 10 月時点



平成 29 年 4 月時点

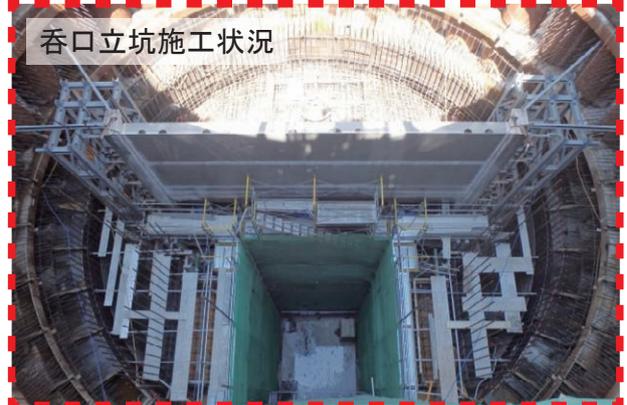
鹿野川ダム改造事業の進捗状況

肱川下流域における洪水被害の軽減と河川環境（水質・水量）の改善を目的として鹿野川ダム改造事業を実施しています。現在、河川環境の改善を目的とした選択取水設備などについては完成し運用中、洪水被害の軽減を目的としたトンネル洪水吐の工事は引き続き進めているところです。

【トンネル洪水吐】

トンネル洪水吐については、トンネル内部の工事が完了しており、上流側の流入水路の施工、吐口部の減勢工の施工が始まったところです。

工事現場周辺においては、今後とも一般交通の安全に十分配慮してまいります。また、資機材の搬出入や作業時に発生する騒音などで大変ご迷惑をおかけして申し訳ありませんが、何卒ご理解をいただきますよう、よろしくお願いいたします。



【選択取水設備】

選択取水設備などについては、昨年未までに完成し、現在運用中です。



出水期に向けて 鹿野川ダムからののお知らせ

鹿野川ダムでは、大雨が降った場合に普段より多量の水を放流します。ダムから放流を行う時には、放流の1時間前に川沿いの警報所からサイレンと放送により河川利用者へ放流のお知らせをしています。予期せぬ降雨などの場合、警報が夜間・早朝になることもあり、ご迷惑をお掛けするかもしれませんが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

また、鹿野川ダムの貯水位、流入量、放流量、雨量などの情報は以下から入手可能となっています。

【パソコン・スマートフォンによる方法】

<http://www.river.go.jp>

(国土交通省川の防災情報)へアクセス



【携帯電話による方法】

<http://i.river.go.jp>

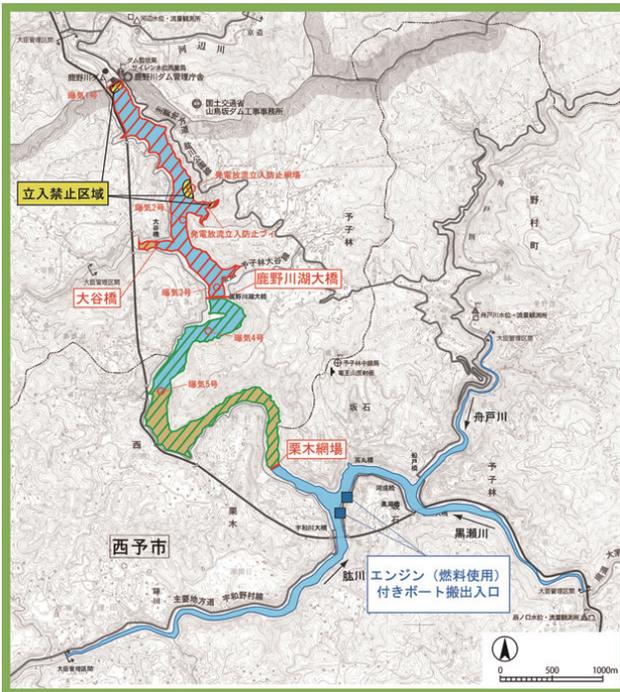
(国土交通省川の防災情報)へアクセス

【電話による方法】

0893-34-2891へ電話



湖面利用ルールについて



【凡例】

- :【通年】エンジン(燃料使用)付きボートの利用不可(ダム堤体～鹿野川湖大橋)
- :【8月1日～翌年5月31日】エンジン付きボートの利用不可(鹿野川湖大橋～栗木網場)
- :【9月20日～翌年4月10日】オシドリ保護区域(大谷橋より上流の支川、暖気5号～栗木網場)
- :立入禁止区域(ダム網場～堰堤、発電放流立入防止網場、発電放流立入防止パイ)

エンジン(燃料使用)付きボートの利用範囲

鹿野川湖では平成27年4月から湖面利用ルールの運用を開始し、みなさまの節度ある利用のおかげで適切な湖面利用が図られているところです。

鹿野川湖湖面利用ルールの理解を深めるためのポイントをご紹介します。

鹿野川湖湖面利用ルールのポイント

- 一人一人に入湖証発行
ボート等で湖面に入る方は全員入湖証が必要です。
- 入湖証は毎年度更新
入湖証の有効期限は3月31日までです。毎年度、申請が必要となります。
- 利用区域の制限
エンジン付きボートの利用の制限や、9月20日から翌年4月10日まではオシドリ保護区域を設けています(左図参照)。

これからも、鹿野川湖の周辺住民に対する配慮も忘れずに湖面利用をお願いいたします。

山鳥坂ダム工事事務所のフェイスブックとブログについて

当事務所では、フェイスブックやブログを通して、業務の紹介や肱川流域の観光スポット、イベント情報などを職員の目線で発信しています。

地域の様子が感じられるような情報をお届けしていきたいと思っていますので、ぜひアクセスしてみてください。



<https://www.facebook.com/mlit.yamatosakadam>



<http://www.skr.mlit.go.jp/yamatosaba/blog/index.html>

生活再建相談所からのお知らせ

○生活再建相談員をご紹介します。

生活再建相談員として三瀬 健一（みせ けんいち）さんに毎週、月・火・木・金曜日の8:30から17:15まで山鳥坂ダム生活再建相談所に常駐していただいています。水曜日の8:30から17:15までは大洲市職員又は山鳥坂ダム工事事務所職員が常駐します。ダム事業等に関する相談等がございましたら、お気軽にお立ち寄りください。

○税理士・司法書士の無料相談を行います。

平成29年度も引き続き、山鳥坂ダム建設事業のために必要な用地をご協力いただく皆様を対象に、税金や登記手続き等の無料相談を山鳥坂ダム生活再建相談所において行います。お気軽にお越しください。

なお、平成29年度からは、税理士の相談日は偶数月、司法書士の相談日は奇数月とそれぞれの相談日が隔月に変更となりましたので、お取り違えのないようご相談にいらして下さい。

〈税理士の相談日等〉

- 相談日 平成29年4月～平成29年12月の偶数月の第2水曜日
(祝祭日の場合は第3水曜日)
- 時間 13時～16時
- 内容 税に関する相談
- 税理士 四国税理士会大洲支部の税理士が交代で相談にあたります。

〈司法書士の相談日等〉

- 相談日 平成29年4月～平成30年3月の奇数月の第2水曜日
(祝祭日の場合は第3水曜日)
- 時間 13時～16時
- 内容 相続手続き等の登記に関する相談
- 司法書士 大洲市周辺の司法書士が交代で相談にあたります。

※山鳥坂ダム生活再建相談所以外での相談や具体的な手続きを依頼される場合は、料金を個人でご負担いただくこととなりますので、ご承知おき願います。

〈山鳥坂ダム生活再建相談所〉 大洲市肱川町山鳥坂 3412 番地 電話 0893-34-3595

「山鳥坂ダム・鹿野川ダム環境検討委員会」を開催しました

3月2日に「山鳥坂ダム・鹿野川ダム環境検討委員会」を開催し、鳥類、魚類、昆虫類、植物等の専門家の委員の皆様からご意見をいただきました。

平成28年度に行った環境保全の取り組みや、希少な動植物が生息しているかどうかを確認する調査等について報告しました。陸産貝類の移植後のモニタリング結果や植物や昆虫の移植方法についてご意見をいただきました。

委員会でいただいたご意見を踏まえ、今後も山鳥坂ダム建設予定地や鹿野川ダム周辺的环境に十分配慮しながら事業を進めてまいります。



「ダムアワード2016」イベント賞を受賞しました

平成28年12月にダムファン有志による団体が主催するダムアワード2016というイベントで、鹿野川ダムがイベント賞を受賞しました。平成27年12月の「トンネル貫通見学会」や平成28年2月の「洪水吐トンネルフリーウォーキング」等の広報活動を評価していただき受賞となりました。

3月には記念品授与のためダムファン有志の方々が鹿野川ダムを来訪しました。

今後も引き続き広報活動に努めてまいります。



～元気人（げんきびと）紹介～

第6回は、前上敷水地区区長、山鳥坂鎮繩神楽保存会副会長の富永幸男さんをご紹介します。

富永さんは69歳。今も現役で仕事を続けるかたわら、米作りもされています。神楽では、「盆の舞」や「大蛇退治の舞」で大蛇役などをされており、3日連続で神楽を舞うこともあるそうです。このような、富永さんの若さや元気の源は、マムシです。「年間4、5匹は食べますよ」とのことです。春先に捕まえたマムシを冷凍保存し、皮をむいて3cmくらいに切り、油で炒め、塩こしょうをして味付けをする。こんがり焼けば骨ごと食べられるそうです。



富永さんに、神楽や岩谷地区について伺いました。

○ 神楽を始めたきっかけは何ですか。

始めたのは25、6歳の頃。知り合いに誘われたのがきっかけです。途中5、6年休んでいたのですが、通算で40年くらいになります。

○ 神楽の年間公演回数は？

24、5回です。春神楽とあって、3月、4月が多いです。3日連続で舞うこともあります。

○ 神楽での一番の思い出をお聞かせ下さい。

平成10年11月にイギリスのロンドンで開かれた博覧会で舞ったこと。日本からは「山鳥坂鎮繩神楽」、東京都八丈島の「八丈太鼓」、岐阜県高山の「からくり人形」が参加しました。時間の都合上、「大蛇退治の舞」のクライマックス部分のみの公演となりました。ロンドン大学でも「盆の舞」を舞いました。

○ 今年で20周年の節目を迎える夜神楽への想いをお聞かせ下さい。

昨年は、県道が崖崩れで通行できなくなったため、やむなく中止となりました。ワイヤーで大蛇が出る仕掛けは山鳥坂鎮魂神楽だけ。こういった演出は他の地域にはありません。今年は1年ぶりに夜神楽を舞うので、是非大勢の方に見に来て欲しいです。夜神楽後の餅まきもいつもより多くまきます。

○ 岩谷地区への想いをお聞かせ下さい。

ダム事業で移転対象となる自治センター、神楽伝承館を少しでも早く建てて欲しい。伝承館については、いろんな所に見に行き、一番鎮繩神楽にあった物を造りたい。そうみんなで話しています。

○ 最後に一言お願いします。

山鳥坂鎮繩神楽も今のメンバーは11人。そのうち、常時揃うのは7、8人です。一番若い人で40代前半、その次は60代。後継者の育成が一番の課題です。岩谷地区の人でなくてもよいので、是非、若い方と一緒に神楽をやって欲しい。また、神楽は春に多く、平日の公演もあります。仕事を休んで神楽を舞うためには職場の理解と協力が必要です。

山鳥坂鎮繩神楽は、約500年の伝統を誇り、その昔、高千穂で神楽を見て感動し、岩谷に持ち帰ったのが発端だそうです。その高千穂神楽には、「大蛇退治の舞」はなく、いつの頃からか出雲神楽にある「大蛇退治の舞」が山鳥坂鎮繩神楽に加わったとのこと。

「夜神楽も20周年だからといって気負うことなくいつもどおりに舞いたい。」神楽の話熱く語っていただいた富永幸男さん。長年に渡りに神楽を舞われてきた山鳥坂鎮繩神楽保存会の方々の熟成された技を堪能できる夜神楽は、今年も8月13日（日）に肱川町の旧岩谷小学校で開催されます。開始時刻は、神事が午後6時から、神楽は午後7時からとなっています。たいまつに照らされた幻想的な夜神楽の世界に浸ってみてはいかがでしょうか。



大蛇退治の舞



盆の舞

